

質を保つのに、個人の指導を高めることと、組織としてみんなの指導の共通点をつくることの両面があるなと思いました。

気兼ねなく意見が言える環境は有難いです。次回楽しみにしています。

教師の質の向上が大切だと思います。正解はないと思うのですが、各教科の見方・考え方を子どもに身に付けるために、教師が授業を改善したり、教科の本質を追求したりする必要があったと思います。まだ幅広いと思います。

Zoomで人と話すことが初めてでしたが、違和感なく話を聞くことができたので楽しかったです。普段は目の前の業務で精一杯で、学習指導要領総則編をじっくり読む機会がなかったのですが、いい勉強になりました。「質」の向上について、自分なりに考えることができました。

学習指導要領総則をみなさんで読み解く中で、内容を少し理解できた気がします。キーワードの一つである「質の向上」は、このコロナ禍の中だからこそ、強く求められると考えました。私たちが各教科等の“本質”を見抜き、授業をデザインする力をつけていく必要性を感じました。各教科や単元（教材）の“本質”を大切にすることが、カリキュラム・マネジメントにもつながると思います。また、みなさんで語り合いたいです。

話題提供をしたように、総則編には教育活動の質の向上や授業の質の向上など、「質の向上」が強く求められてきています。

それはなぜでしょうか。**Society 3.0**の社会なら、これまでの教育でも何とか通用していましたが、**Society 4.0**の世の中からは、これまでの教育が怪しくなって、**Society 5.0**に突入している今、いよいよ教育界でも2030年代を生き抜く力をもった子どもの育成のための教育活動が必要不可欠です。我々教師がまず、このままではいけないと気付くこと、そして教師としての力量のアップデートを図ることが、質の向上につながると思います。

「教特法第21条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」を思い出しました。